**１－１「学者の落としもの」**

・初期証拠カード「落とした時計」に対して

その他　「路地裏のことなら靴磨きが知っている。彼に聞くといいよ」

・アイテムカード「学者のものらしき時計」に対して

その他　「早く学者さんに届けてあげな」

**１－２「家宝の剣」**

・初期証拠カード「家宝の剣」に対して

他「以前に新聞で見たというなら、記者に聞いてみるといいんじゃないかな」

・証拠カード「商人に借りた」に対して

他「商人に聞いてみるべきだろう」

**１－３「料理のレシピ」**

・初期証拠カード　「自作レシピ」に対して

貴族「依頼の通りだ、よろしく頼む。」

・「プロのレシピと材料」に対して

貴族「なるほど、これが正しいレシピか。ありがとう」

・「足りなかった材料」に対して

貴族「なるほど、足りなかったのはこれか。ありがとう、自分で試してみるよ」

**いずれの場合も、真相カード　「流行りの料理」を渡してください。**

**２－１　狼男**

・初期ハンドアウト「狼男のうわさ」に対して

貴族「ロマンチックな噂だが、私はよく知らないね。他のものに聞いてみるといい」

・「目撃情報」に対して

他（商人は上と同じ）「そ－なのかー」

・「銀色の子犬」に対して

他（靴磨きは上と同じ）「そーなのかー」

・証拠カード「目撃情報」「銀色の子犬」に対して

他「なら、記者に直接聞いてみればいいのでは？」

**２－２「恋文」**

・初期証拠カード「恋文」に対して

貴族「何か進展はあったか？」

・証拠カード「恋文の出てくる小説」について

貴族「その小説は……以前マスターや商人と読んだ時に、マスターが持ってきてたような……あれは何時の事だったかなあ？」

・証拠カード「マスターの冗談」について

貴族「そうだったのか、しかし何故そんなことをしたのか気になるな」←マスターに誘導して下さい。

**２－３「チェンジリング」**

・初期証拠カード「読めない本」について

他「読めないから判断のしようがないね……学者さんなら読めるかもしれないが」←学者に誘導して下さい。

・証拠カード「一部訳の台本」について

貴族「オペラなら父上が熱を上げていたようだが詳しいことまではわからないな」

・証拠カード「スポンサー」について

貴族「そうか、それなら父親に渡してもらうように言っておくよ」

**真相カード「あるべきところへ」を渡して下さい。**

**２－４「通り魔」**

・初期証拠カード「いきなりの襲撃」に対して

貴族「依頼の通りだ。よろしく頼むぞ。（詳しい事件の内容を聞かれて）それを調べるのが君の仕事ではないのかね？まあいいだろう。数日前の晩、酔っていた時にいきなり殴られてね。その時は怖くなり逃げだしたが、数日たつとなぐられた怒りがわいてきた。警察に相談するも殴られたという証拠がないので相手にされない。大方私を恨む奴だろう。調べてくれたまえ」

・証言カード「ガールフレンド」に対して

貴族「ぎくっ。まあいい、調査を続けたまえ」

・証言カード「ストーカー」に対して

貴族　「この依頼は解決したということにしておくからストーカーのことは黙っていてくれ」

**真相カード「依頼の取り下げ」を渡してください。**

**２－５「無人教室」**

・初期証拠カード「子供が来ない」に対して

他　　「学者先生の教室ねえ・・・たしか路地を少し行ったところにあったなぁ・・・」

（貴族は多少動揺した後に、台詞を出してください）

・証拠カード「竜の玉」に対して

貴族　　　「な、なんのことだろうか・・・？」明らかに動揺してください。

・証拠カード　「貴族の所有物」に対して

貴族　　「あぁ・・・確かに私は持っているが・・・。それがどうかしたか・・・？」

・証拠カード　「子供が来ない」「貴族の所有物」に対して

貴族「……ああ、その通りさ。子供は私の家でMANGAを読んでいるよ。あんな小さいのに、面白くもない勉強なんてかわいそうじゃないか……。息抜きをさせたかったんだ……。学者の方には私の方から謝っておくよ……」

　　　　　　　**真相カード　「貴族の家で」を渡してください。**

**２－６「笑わない数学者」**

・初期証拠カード「消えた原稿」に対して

他「風で飛んだんじゃないか？」←巡回させれば手がかりは出るので他のNPCに話を聞きに行くよう伝えて下さい。

・証拠カード「紙束を抱えた息子」に関して

他「酒場の方に行ったならマスターにでも聴いてみたら？」

・証拠カード「数式の書かれた紙飛行機」に関して

他「学者さんに教えてあげたほうがいいんじゃないのか？」←学者への誘導をお願いします。

**２－７「毒殺」**

・初期証拠カード「アンダーソン氏の死」に対して

貴族　　「ああ、あの二人か。仲が悪いとは聞いていたが、まさかあんなことになるとは……いや、まだ犯人と決まったわけではなかったな。忘れてくれ」

・証拠カード「ボストン氏の買い物」に対して

残り　　「まあ、たしかに変な話だね。そう言えば、この前靴磨きが変なものを拾ったとか言っていたな」

・証拠カード「落ちていた万年筆」に対して

その他　学者ならたぶんそこに毒が入っていないか確かめてくれるだろう。

**２－８「エーシーズ・ハイ」**

・初期証拠カード「キズモノ飛行機」に対して

貴族「さあ、わからないな。傷のある飛行機なんてそこまで珍しいものではないから」

・証拠カード「貴族説」に対して

貴族「言われてみれば、私の飛行機に似ているな。でも、私じゃないよ。あの日は酷い風邪を引いてしまってね。一日中家で寝込んでたさ。おかげで大事なパーティーに出損ねた位だよ」

　　　**証言カード「あの日は病気」を渡して下さい。**

・証拠カード　「あの日は病気」に対して

貴族「まあそういう訳だから、他の人に当たってくれたまえ」

・証拠カード「目撃証言」に対して

貴族「しまったなあ。知り合いに見られてたとは。一応軽く変装はしたつもりだったんだが……まあ仕方ない。そう、あれは俺だよ。あの日は堅苦しくて面倒なパーティーに出たくなかったから仮病を使ったんだ」

**真相カード「正体は貴族」を渡して下さい。**

**２－９「伝説の薬剤師」**

・初期証拠カード　「伝説の薬剤師」

他　「うーん。たしか伝説の無免許薬剤師、って噂だね。詳しいことは・・まぁ、噂なら

　　　記者さんに聞いてみればいいんじゃないかな？」

・「星の形をしたアザ」に対して

他　　「アザですか・・？それも星形の・・・？わかんないですねぇ。」

・「星のアザの持ち主」に対して

他「へぇ・・・そうなのかい？星のアザとは変わってるねぇ。でも、消そうとするほどの理由じゃないね？」

・「靴磨きの薬」に対して

他　「ふーん、そんなことがあったのか」

・「路地裏の治療者」「星のアザの持ち主」に対して

他「・・・うーん。靴磨きさんに直接聞いてみたらいかがでしょうか？」

**２－１０「10年目の浮気？」**

・初期証拠カード「トマスの浮気疑惑」について

他「酒場に行かれているのでは？」

・証拠カード「最近あってない」について

他　　「プレゼント探しならば商人のところでは？」

・証拠カード「引退した指輪職人」について

その他「あの老人ですか……確か実家が記者の家の近くだったので、そっちに帰ったのかもしれません」

・証拠カード「職人の今」について

その他「商人に頼んで下さい」

**２－１１「届かなかった贈り物」**

・初期証拠カード「紅白の箱」に対して

　貴族　「是非見つけ出してくれたまえ。」

・証拠カード「中身は女神像」に対して

　貴族「へえ。中身は女神像だったのか。探してきてくれたまえ！！」

・証拠カード「ヴィーナス像」に対して

　貴族「ほう。ヴィーナス像？どんなものだろうか？楽しみだ。」

・証拠カード「裸体像」に対して。

貴族「裸体像か・・・？ダビデとかかねぇ。」

・証拠カード「ツケのカタ」に対して

　貴族「酒場のツケに人のものを使うなよ、ってねぇ・・・？」

・証拠カード「ギャンブルのベット」に対して

貴族「ウッソ・・・！あれだったのか！！いやあ、スマンスマンまさか手元に戻って来るとは！！いやー本当にご苦労だったな！！アッハッハ」

**真相カード「数奇な運命」を渡してください。**

**２－１２「消えたネクタイ」**

・初期証拠カード「ネクタイは商人のもとへ」に対して

他「うーん・・商人さんとはよく会うが変わった様子はないなぁ。よく顔を合わせているマスターなら何か知っているんじゃないか？」

・証拠カード「マスターの証言」に対して

他「へえ。なるほど。・・それが私に関係あるとは思えないのだが？」

・アイテムカード「ネクタイと領収書」に対して

他「特に何もわからないなぁ・・・？」

・証拠カード「郵便の行方？」に対して

他　「記者からの郵便？いや、私のところには来ていないよ。」

・証拠カード「ネクタイと領収証」「郵便の行方」に対して

他　「特に何もわからないなぁ・・・？」

**２－１３「幽霊屋敷」**

・初期証拠カード「悪霊の噂」について

貴族「あの屋敷は私の知人の持ち家だったのだがどうも小賢しい依頼主に二束三文で買い叩かれたらしい。売却の件は記者ぐらいなら知っているだろう、私が話すことではない」

**証拠カード「買い叩き」を渡して下さい。**

・証拠カード「買い叩き」について

他「詳しいことは知らないな、記者ならそういうことに詳しいんじゃないか」←事情通の記者に誘導するような発言をお願いします。

・証拠カード「円満な取引」について

全員「円満な取引ならそれでいいじゃないか」

（これ以上この手がかりからは情報が手にはいらないことを伝えて下さい）

・証拠カード「夜中の物音」について

他「誰も居ないのに物音がするなんてなんだか薄気味悪いな」←次に話を聞くNPCを言っているので誘導はなくて良いと思います。

・証拠カード「暗闇の中で子供」について

他「ちょっとわからないな、商人さんのところは確か子供が居たはずだから詳しいことを知っているかもしれないね」←商人への誘導をお願いします。

**２－１４「くさきものども」**

・初期証拠カード　「謎の集団」について

他「うーん・・こころあたりはないが・・流行には新聞記者が、裏路地には靴磨きが詳しいよ」

・証拠カード「腐った豆」について

貴族「ああ！それはきっと納豆とかいう料理だな。私も食べたいと思ってたんだ！！誰かに軽く頼んだのだが……だれに言ったっけなぁ……？」

**証拠カード「料理依頼」を渡して下さい。**

・証拠カード「黒覆面の男」について

他　　「うーん……怖いねぇ。なんだってそんなものを付けているのだろうか・・？」

・証拠カード「料理依頼」について

他「なんだって、私に貴族様が料理を頼むのさ。そういうのは料理ができる人に頼むだろうよ」

・証拠カード「酒場から出現」について

他「うーん……そんな変な客がいるのか？まさかなぁ……」

・証拠カード「料理依頼」「酒場から出現」について

他「うーん……マスターに聞いてみるのがいんじゃないか？」

**２－１５「紫の薔薇」**

・初期証拠カード「紫の薔薇の君について」

貴族「ああ、ぼくも大好きな女優でね。次の舞台も見に行くつもりさ。紫の薔薇？確かに彼女に似合いそうな気がする。君はどこで売ってるかしってる？そうか、残念」

・証拠カード「女優の出身」について

他「えっ？あの女優のスキャンダル？・・・なんだただの噂かい」

・証拠カード「貴族の庭園」について

貴族「庭園は管理人が亡くなった時に潰してしまったよ。紫の薔薇もさいていたかもしれないがね。彼が一緒に管理していた孤児院もね。確かあそこの靴磨きは孤児院出身で、庭園の手伝いもしていたんだ。聞いてみるといい」

**証拠カード「靴磨きの過去」を渡してください。**

・証拠カード「庭仕事の道具」について

他　　　「靴磨き本人に聞いてみてはどうだろうか？」

・全ての証言カードを持って行く

**２－１６「少年の一目惚れ」**

・初期証拠カード「髪飾り」について

他「最近町でよく見かけるけど詳しいことはわからないな」（他のNPCに行くよう伝えてください）

・アイテムカード「高価な落し物」について

貴族「これなら五日前娘に買ってやったものだよ、ほらここに娘の名前の刺繍が入っているだろう」

**証拠カード「持ち主は貴族の娘」入手**

・証拠カード「持ち主は貴族の娘」について

他「貰ったものをすぐになくすなんておっちょこちょいだね」←この証拠カードでは次の手がかりが出ないことを伝えてあげてください、ミスリードです。

・証拠カード「きっかけは服装展示会」について

他「詳しいことは知らないな、新聞に載っていたから記者さんなら知っているんじゃないか」

・証拠カード「販売は五日前から」「精巧な人形」の二枚を出された場合

他「それは学者さんに伝えてあげたほうがいいんじゃないか？」

**２－１７「盗まれた首飾りを取り戻して」**

・初期証拠カード「盗まれた首飾り」に対して

貴族「首飾り・・・？確かに先日上物を購入したが、盗品なんて冗談はやめてくれ！私の名誉にかかわることだし、だいいち鑑定書だってついているんだ！！」

　　　**アイテムカード「首飾りの鑑定書」を渡してください。**

・アイテムカード「首飾りの鑑定書」に対して

他　「おお、首飾りは見つかったのかい。よかったじゃないか」

・証拠カード「問屋がらみの犯罪」に対して

貴族「なんだね？私の首飾りが盗品とでもいいたいのかね？ならば具体的な証拠を出したまえ！！」

・証拠カード「もしかして偽造？」に対して

貴族「うーん……いや、しかし……商人は本物といってたし、彼が偽物を渡すとは考え難い……」

・証拠カード「もしかして偽造？」「問屋がらみの犯罪」に関して

貴族「もしかしたら……彼も被害者なのかもしれんな……。商人に話を聞いてくれ。彼が盗品というなら、私も速やかに返却しよう。」

・証拠カード「鑑定書は偽造」に対して

貴族「この首飾りは盗品だったのか。それを所持していることは私の名誉にかかわる問題だ！君、これを持ち主に届けてくれ！！よろしく頼んだぞ！」

　　**真相カード「戻ってきた首飾り」を渡してください。**

**２－１８「行方不明の看板娘」**

・初期証拠カード「酒場のローラ」に対して

貴族「ローラだって……！！いや、私は何も知らんぞ！！」

・証拠カード「貴族のプロポーズ」に対して

貴族「ああ……フラれたよ。付き合ってる彼氏がいるらしくてなぁ……誰かは知らんが。そして彼女はいなくなってるだろ？私としては権力使って云々という気はないのに……残念だ」

・「赤毛のローラ」に対して

貴族「ええ？あの綺麗な髪を染めてしまったのかい？私は好きだったのに……」

・「旅支度」に対して

貴族　「……こう思いたくはないが、私が原因なんだろうね……やっぱり」

・証拠カード「ジャックと馬車」に対して

貴族「ジャック……？生憎と私には縁がないが……？」

・証拠カード「ジャックとローラ」に対して

貴族「……なるほど……ローラの彼氏はジャックというのか。知ったところで、もう私には関係ないが……」

・証拠カード「旅支度」「貴族のプロポーズ」「ジャックとローラ」に対して

貴族　「なるほど……私は本当にローラにはすまないことをしたな……学者先生に聞いてくるのがいいだろう……さすがに教えてくれるだろうよ」

**２－１９「失われた物語」**

・初期証拠カード「本の紛失」に対して

貴族　　「あの件か。あれさえなければ展示会は大成功だったのだがな……開催者の一人としては残念だ。協力してくれた商人氏も残念がっていたよ」

・証拠カード「アリバイ」に対して

貴族　　「展示会の閉会式が終わって直ぐに、靴磨き君の馬車でパーティー会場に移動して、それからずっとあそこにいたよ。出発前に馬車の車輪が外れてしまい、靴磨き君と、そばにいた学者氏に修理してもらっていたので、それほど早く会場入りしたわけではないが。本が無くなったとかで騒ぎになったのは、私が到着した少し後だな」

**証拠カード「馬車の故障」を渡して下さい。**

・証拠カード「学者の借金」に対して

その他　「聞いたことがある気もするが、詳しくは知らないな」

・証拠カード「持ち物検査」に対して

他「記者の言うとおりですね。私の知る限り、皆検査には協力的でしたよ」

・証拠カード「馬車の故障」に対して

貴族　　「あれには往生したな。割とすぐに直ったから良かったが、時間がかかっていたら面倒な事になったかもしれない」

・証拠カード「学者が馬車を？」に対して

他　　　「それはちょっと変だね。商人の知り合いの会社のものだというなら、商人に聞くべきだろう」

・証拠カード「細工の痕跡」、「学者の借金」に対して

その他　「そこまで調べが付いているなら、直接学者に問いただすべきでしょう」

**３－１「表紙のない本」**

①「くれぐれも私の仕業と悟られないよう頼むよ」

②「内容についてか？　いや、それは私の口からは言うことはできんのだ……」

③or⑪「なんだと！？うわさになったらどうするんだ！　ああもう私はおしまいだ！死神に殺されてしまう、出来るだけ早くこの街から引っ越さなければ！！！」

**→真相失敗カード「死神」**

④「知らなかったな。それがこの本に関係しているのかは分からないが」

⑤「何、一人見つかったのか!?　あっ、いや……大丈夫か、ふう（挙動不審に空を見たりする？）」

⑥「初耳だな、それがその本に関係しているのかは分からないが」

⑦「マスターもその本を持っていたのか！　しかし、彼も続刊の持ち主を知らないのか……、ああ、あまりことが大きくなると、私は本当に殺されてしまうかも……」

**→証拠カード⑩「貴族の心配」**

⑧「なるほど、だが持ち主を探さないことには……」

⑫「新聞の号外を見たか！？　あんなことをしては、死神に殺されてしまうに決まっている！　出来るだけ早くこの街から引っ越さなければ！！！」

**→真相失敗カード「死神」**

⑬「そうか、学者が既に本を処分していて、健在だと。なんだ、取り越し苦労だったのか……肩の力が抜けた気分だよ。ありがとう」

**→真相カード「取り越し苦労」**

**３－２「読めない手紙」**

・初期証拠カード「友人について」

貴族「ああ、彼かね。彼の会社には私の公領の取引を一部任せていたのだが、突然の死亡だったからね。いろいろ大変だったよ。最後に会ったのは、たしか二週間くらい前か。私の公領で新しい鉱山の開発予定があってね。その開発権を入札したのだよ。残念ながら入札は○☓商事が取ってしまったので、彼は落ちてしまったけどね。なにかずいぶんと無理してお金を集めてきたようだが、ルールはルールだからね。実際彼と○☓商事の示した金額は僅差だったしね、まさかそれを苦にして自殺、ということも彼なら無いと思うのだが」

**→証拠カード「鉱山の開発権入札」**

・証拠カード「鉱山の開発権入札」に対して

他「○☓商事ねえ……古い会社だから、マスターや記者なら詳しいかもな」

・証拠カード「商人の従兄弟」に対して

他「へぇ、そうだったのか。商人関係の話なら学者にも聞いてみたらどうだい？

　　あの人経済学にも詳しいようだし。」

・証拠カード「臨時休業」に対して

他「その日か……多分関係のない話だが、あの日はマスターの店に行ったらやたら酒の在庫が少なくなっててね。俺の欲しい酒もなくて困ったよ。何かあったのかな？」

・最低限の証拠カード「金の無心」「商人の融資」＋「臨時休業」「新月」「酒の購入」（事故前の行動）

他「何か商人の発言が事実と違ったり、事故の日も怪しい行動をしていたり、

　　これは直接商人に問いただすべきでは？」

**３－３「謎の襲撃者」**

1：「彼とは大学の同期で、同窓会についての話をする予定だったんだ。しかし当日の朝になって、急用が入ったから延期にしてくれと電話で言われてね。おかげで丸々一日暇になってしまったので、昼からは靴磨きを誘って自宅で酒を飲んでたよ」

**3番「急用」を渡して下さい。**

2：「学者に頼んだらどうかね？私の知り合いで、そういうことを調べられるのは学者とあと一人しか知らないよ。あと一人の方はちょっと喧嘩中なので、余程の理由がない限りは勘弁してほしいね」

4：「勘違いだろう。私はその時間家にいたし、今付き合っている女性などいないよ」

5：「確かにそんな噂はあるな。ダグラスは確かに浮気くらいやりかねん男だが……。奥さんに限ってはそんなことはないだろうよ」

6：「ああ、その通りだよ。それが何か？」

**3番をまだ渡してなければ、渡して下さい。**

7：「それは事実だが、だから何だというのだね？」

8：「吐いてしまったか。まあ仕方ないな。こうなった以上は素直に話そう。その日私はダグラスの奥さんと合っていて、それを知られたくなかったのだ。私は以前からダグラスの浮気について相談を受けていて、それで度々奥さんと会っていたのだ。これがダグラスの浮気相手の写真だ。なにかの役に立つかもしれないので君に渡そう。それと、私と彼女は犯行のあったと思われる時間帯はずっと郊外のレストランにいたから、完全に白だよ」

**11番「貴族の告白」と12番「浮気相手の写真」を渡して下さい**。

貴族は奥さんとの関係が浮気だとは積極的には言いませんが、浮気です。それは浮気じゃないのか？と突っ込まれたら、渋々認めましょう。

なぜ靴磨きはお前が犯人じゃないと知っていた？と聞かれたら「レストランを出たところで、靴磨きに出くわしてね……」

9：「ふむ。犯人は手袋でもしていたのかな？」

10：「これがどうかしたのか？」

13と2：「学者も容疑者となると、学者に調べてもらうという訳にはいかないか……。他の知り合いに頼んでみよう。そいつは警察関係者だから信用していいはずだ。調べてもらうかね？」

肯定されたら「では調べてもらおう……（間）……調べて貰った結果、灰皿から学者の指紋が出たそうだ……」

**14番「灰皿に学者の指紋」を渡して下さい。**

否定されたら「そうか、まあ調べたくなったらいつでも声をかけてくれ」

13と10：「学者が容疑者になったから、調べ直したいというわけか……いいだろう。他の知り合いに頼んでみようか？」

否定されたら「そうか、残念だ」

肯定されたら「では調べてもらおう……（間）……灰皿からダグラス以外の指紋は出なかったが、かなり広い範囲で指紋が拭き取られていたらしい。これは事件直後に犯人が拭きとったか、学者が拭きとったかのどちらかだろう。しかし、これで手詰まりなのか？いや、何か見落としているような気もする……その何かがわかれば、まだ手はあるかもしれない。他の人達に聞けば、なにか知恵を出してくれるだろう」

**15番「拭き取られた跡」を渡して下さい。**

ここから先に進むには、何か推理が必要なんだということを教えてください。

「拭き取られた跡」を渡した後で、灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、

「おお、そうだな。よし、調べてみよう……（間）……うむ。やはりドアノブや電話機から、学者の指紋が見つかったらしい。彼はダグラスと面識はないと言っていたそうじゃないか。これは明らかにおかしいな」

**17番「ダグラスの家に学者の指紋」を渡して下さい。**

学者は慌てて逃げたので、家の中の指紋はそのままなのだ。